

チェンマイ大学 Kate 研に滞在して

愛知工業大学大学院 山下 真以

1. はじめに

皆さんタイのチェンマイという都市をご存知でしょうか。タイの北に位置し、第二の都市であり、北方のバラとも言われる美しい古都です。

2013年8月、私はチェンマイへと一人旅立ちました。初めてのタイ、初めて一人で乗る飛行機など、私にとっては初めてづくし。1か月の滞在予定でしたが、出発前は不安などありませんでした。タイ滞在中はチェンマイ大学の Kate 先生にお世話になる予定でしたし、Kate 先生の研究室には私の大学に留学していた友達がいたので、いっぱい勉強してこよう！と意気込んでいました。また勉強以外でも本場のトムヤムクンが食べたい、象にも乗ってこよう、など一人出発を心待ちにしていました。いざ行ってみると、空港で迷子になったり、タイ語が分からず困ったり、おなかを壊したり、大変なこともたくさんありましたが、学生生活最後の夏休み、とても良い経験をすることができました。

2. タイの生活

チェンマイでは Kate 先生が大学から徒歩3分のアパートを用意してくれました。普段大学まで2時間かけて通っているので、大学に近いというのは新鮮でした。平日は朝から夕方まで大学に通って実験をし、休日は友達と様々な場所に出かけました。特に印象に残っているのは首長族の方たちが住む村を訪れたことです。タイに行く前、首長族の方にぜひ会ってみたい！と思っていました。実際に会うとやはり長いです。しかしそれ以上にとっても綺麗な人ばかりでした。実際に首飾りを持たせてもらいましたが、本当に重く、肩のマッサージをしている人を見かけたりもしました。

タイに行ったと言うと、一番に聞かれるのは食事についてです。食事は出発前、一番心配していました。タイの人はあまり自炊をしません。食事

は毎日友達と外食をしていましたが、100～200円でお腹いっぱい食べることができます。安いうえにどれを食べてもおいしく、何でも挑戦して食べました。最初は氷まで気を使っていたのが、段々とこれくらいなら大丈夫だろうと安心するようになったせいか、帰国1週間前、恐れていたことが起きたのです。ひどい腹痛に悩まされ、初めて海外の病院を経験しました。苦しみながら、何でも躊躇せず食べていた自分を恨めしく思いました。しかし早めの対応が良かったのか、すぐに回復することができました。海外に行くときは何かあるかわかりません。ひどくなる前の早めの対応が大切だなと改めて感じました。



写真1 首長族の女性と



写真2 メーサーエレファントキャンプにて

3.チェンマイ大学

チェンマイ大学は 22 の学部があり、学生数は約 4 万人、広さは東京ドーム約 87 個分と広大な敷地を持ちます。あまりにも広すぎるため、学内は車やバイク、バスで移動します。

Kate 先生の研究室は朝 10 時から始まります。Kate 研の方たちはとても優しく迎えてくれました。先生も学生もとても仲が良く、すごく良い研究室だなと感じました。

滞在中は同時注入/混合迅速分析法 (SIEMA) を用いた、りんの定量を検討しました。SIEMA を使用することにより従来の方法よりも使用する試薬を削減することができ、また簡便・迅速な測定が



写真 3 Kate 研のメンバー

可能です。測定に最適な条件を検討し、感度良くりんの定量を行うことができました。実験にあたり、Kate 先生が話し合いの場を良く設けてくれました。そのおかげで、安心して実験をすることができました。

実験を通して、化学の勉強はもちろんのこと、たくさんの事を学びました。チェンマイ大学には勉強熱心な学生さんが多く、研究や勉強に対する姿勢は私も見習おうと感じました。

4. 最後に

今回の執筆に当たり、チェンマイでの 1 か月を振り返り、とても懐かしい気持ちでいっぱいです。短い期間でしたが、本当に充実した 1 か月でした。文化の違いや、腹痛に悩まされることもありましたが、今ではそれも良い思い出です。

勉強させてもらえただけではなく、素晴らしい人との出会いや、タイの文化に触れることができました。

最後にチェンマイ大学の Kate 先生、Kate 研の学生さんたち、タイでお世話になった全ての人、そして指導教員の酒井先生、手嶋先生に本当に感謝しています。